

コロナ禍での介護の現状

特別養護老人ホームたくまの里 施設長 作取 久

たくまの里は2007年8月に開設して15年になります。特別養護老人ホーム(定員50人)、ショートステイ、デイサービス、訪問介護、居宅支援事業を運営しています。

たくまの里開設時から家族や地域との交流を行ってきました。毎日数家族が面会に来られ入所者や職員と交流していました。ボランティアに協力してもらいロビーでふれあい喫茶を行っていました。日常と違う場所や雰囲気やボランティアとの交流を楽しみにしている利用者も多くいました。地域交流スペースでの健康友の会や地域サロン活動を行っていました。夏には夏祭りを開催して地域住民との交流の場になっていました。



維持に必要な不可欠な労働者としてエッセンシャルワーカーに注目があつまりました。介護職もその一つです。

2022年2月「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、介護職員を対象に、収入を月額9,000円引き上げる補助金が始まりました。しかし、事業種別で加算率が異なり、対象職員は常勤換算数のため実際は平均5,000円程度にしかありません。さらにケアマネジャーは対象外となっています。そもそも介護職員は全産業平均から月額8万円低い賃金の引き上げには程遠い内容です。この補助金は10月から介護報酬の加算に組み入れられ利用料負担が増えます。コロナ禍において国民の生活困難が顕著になる中で、国費による対応が必要だと思えます。

たくまの里が加盟する熊本民医連では「介護保険制度の改善を求める請願署名」に取り組めます。みなさんのご協力をお願いします。

介護で働くすべての労働者の賃金を全産業平均以上に

若い人が介護の仕事長く続けることができないのは賃金が低すぎるから。

全産業平均よりこんなに低い!

募集をかけても応募者が集まらない

介護職員 (医療・福祉)	月給25万600円 年間賞与52万800円
全産業 平均	月給33万4,800円 年間賞与87万5,500円

厚労省：「令和3年賃金構造統計基本調査」一般労働者の決まって支給される現金給与額(残業手当含む、税・社会保険料天引き前)



2020年2月に発生した新型コロナウイルス感染症の流行により、介護内容が様変わりしました。高齢者介護は利用者との密接を避けることができません。そのため職員は常時マスクとゴーグル装着、食事介助や入浴介助の時はフェイスシールド装着して感染対策を行っています。さらに日々の健康チェック、ワクチン接種、抗原抗体検査を実施して業務に携わっています。集団で実施していた行事やレクリエーションは、小集団へと変更しました。面会も制限せざるを得ませんでした。居室やリビングで自由に面会できていましたが、スクリーン越しやタブレット面会に変更してきました。コロナ禍が長期化する中で直接面会したいという声をいただき、制限緩和と感染対策の間で揺らぐことが多くあります。

新型コロナウイルス感染症の流行で最低限の社会インフラ



会員の作取久男さんに植物の育て方を教えていただきました。

(その3) ■ 店舗URL / <http://www.herb-rose.com>



30年程前、ガーデニングブームに乗りラベンダーやローズマリーをはじめとする多種多様な西洋系ハーブが紹介され一度は育てた事がある植物ではないかと思えます。ハーブをよく枯らすという方がいらっしゃいますが実は日本の気候に合わないものも数多くあり枯らすというよりも枯れると言った方が正解です。園芸店で販売されていても、それが気候に合致しているとは限りませんので下調べは必須です。特にハーブは日光を好む植物で日照不足と高温多湿になる梅雨時に枯れてしまうものが多く存在します。ハーブの楽しみ方はお料理やハーブティーがよく知られていますがその他に入浴剤や

害虫忌避剤、芳香剤に消臭剤としての利用もあります。一番お手軽なものは台所の収納スペースに置いてゴキブリ忌避です。爽やか系の香りが嫌いなのでローズマリーやミント類がよろしいです。次にお手軽なのは車の中に入れて芳香剤としての利用です。意外と身近に利用できるハーブ、ちょっと試してみてもいかがでしょうか。

<ご注意>

ハーブは癒しをもたらしてくれる植物であります。持病がある方は常用摂取する前にかかりつけの医師にご相談ください。



人と地球の健康(その3)

環境活動家
あだち 安人



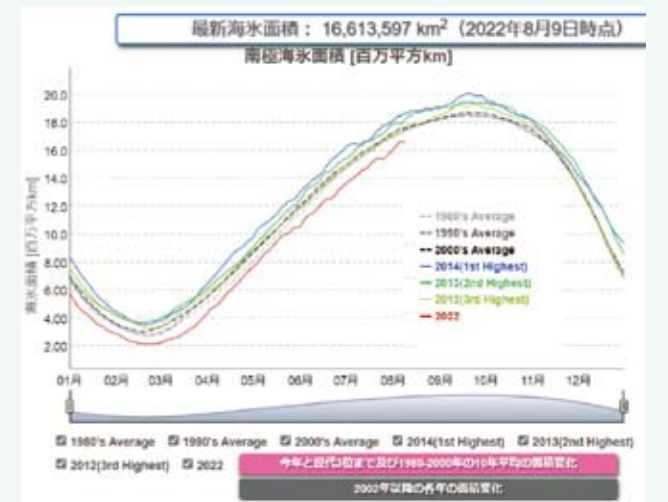
毎日毎日、猛暑が続いています。東北では、記録的な豪雨で災害が起きています。世界を見渡すと、特にヨーロッパの気温上昇が激しく、イギリスやスペイン、フランスなどでも、40℃を超える記録的な猛暑になっています。その猛暑と乾燥によって火災が発生、広大な森林を焼き尽くす事態となっています。

北極圏のグリーンランド、今年7月の気温は平年より6℃も高く15.56℃を記録。毎日、最大60億トンの氷が融け、海に流れ込んでいます。グリーンランドだけでも、氷床がすべて融けてしまえば、海水面は7メートルも上昇する(数百年かけて)と警告されています。南極はいま冬場で、大陸周辺の海が凍って海氷となって広がり、9月後半には最大になる時期です。ところが今年は、6月から8月初めにかけて、海氷が広がる速度が遅く、観測史上最小となっています。(グラフ:JAXAより)

人間は今、温室効果ガスを毎年、400億トンも大気中に出し続け、地球温暖化を引き起こしています。地球温暖化がもたらす害悪は多々ありますが、海面上昇こそ最大の問題だと思います。私たちは、海岸線は変わらないものと思いがちですが、今から2万年前の最終氷期には、海の水が蒸発して雪となり、北米大陸やヨーロッパに積もって氷床となり、海水面は今より120mも低かったようです。有明海は谷で、天草は島でなく半島、九州も四国も本州とつながっていました。今は、その逆が進行中、数百年のうちに、海面上昇で宇

土半島は宇土島になってしまうでしょう。

今、多くの国で領土争いをしていますが、愚かなことです。海に面しているところは他国どころか海に侵略され、内陸部はサバンナと砂漠から侵略を受け、それはとどまる事を知りません。今や安全保障上の脅威は、他国ではなく気候変動であり、自らの地球環境破壊です。これは各国共通です。だから互いに協力できるし、しなければなりません。戦争なんかしている場合ではありません。



出典:JAXA